

ななかまの

NO.587 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙

2025年6月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29

TEL018-823-7748 FAX018-823-7751

Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

2025年7月20日投開票(予定)の参議院選挙にあたって、中央執行委員会は下記の決議をあげました。

2025年5月26日～27日 「建交労第5回中央執行委員会決議」
2025年参議院選挙 自公政権を追い詰め、私たちの要求を実現させよう
～大幅賃上げと底上げ、消費税減税、大軍拡反対・改憲阻止へ～

燃料・物価高騰が4年目に突入し、政府の無策により米の価格高騰が国民生活に直撃しています。23年以降の春闘で大企業・中小企業での賃上げが進んでいますが、約30年間続いてきた「実質賃金の低下」を改善する水準には至っていません。とりわけ中小・零細企業は、経営改善が進まず厳しい状況に追い込まれています。いま政府による生活苦にあえぐ国民生活を支える為に、消費税減税・インボイス廃止や最賃引上げ、中小企業支援の抜本的改善が求められています。しかし、石破内閣＝自公政権と維新、国民民主の改憲勢力は、2025年度防衛費予算約9兆円を通過させ、衆参の憲法審査会においては、緊急事態を理由にして改憲を迫る主張を繰り返しています。さらに4月以降トランプ関税が各国に押し付けられようとする中でも政府は抗議・撤回を求めず、自動車生産拠点を米国への移転、米などの農産物の輸入枠の拡大などを大企業と共に労働者・国民へ押しつけようとしています。憲法よりも日米安保優先の政治を続けようとしています。

私たちの生活改善に向けて要求の政策化とともに、労働者のくらしと雇用、いのちを守る政治を実現するために、協力共同進めてきた野党への支援を強化し、労働組合として力を合わせる為に各地で尽力します。私たちは憲法を守り活かし、下記の要求を実現するために、今年の参議院選挙においても、自公与党など改憲勢力の議席3分の2以下へ追い込む為に奮闘します。

◎私たちの実現したい要求

1. 燃料・物価高騰対策に向けた直接的な国民支援の実施、最低賃金の全国一律制度を創設し、時給1,500円以上の実現。そのために必要な中小企業支援策を充実させ、消費税5%減税の実施、インボイス廃止。
2. 憲法9条改憲に反対し、企業活動や大学などの研究活動への政府介入、軍事開発に道を開く「経済安全保障法」の即時廃止。
3. ロシア・ウクライナの停戦合意、イスラエルのガザ軍事攻撃中止を求めて、日本政府による国連や欧米諸国への働きかけの強化。各難民支援への拡充措置。
4. 大軍拡反対、「医療・福祉・教育分野」にまわすこと。辺野古の新基地建設を中止すること。日米地位協定を抜本的に改定すること。核兵器禁止条約を直ちに批准すること。
5. 原発ゼロ基本法を制定し、再生可能エネルギーへの転換。
6. 年金や医療、介護、福祉などの社会保障制度の改善。
7. 自動車運転者の改善基準告示を、「過労死認定基準」などとの関連から抜本的に改正し、拘束時間の大幅短縮、休息期間の延長などを定めるとともに法制化してその実効確保。
8. 学童保育予算を正規・複数配置の人員費など大幅に増額。また施設基準を明確にし、専用施設を建設できるように施設整備費の増額と拡大。
9. 13年連続で引き上げられた公共工事設計労務単価を現場で働く建設・ダンプなどの各労働者・個人請負就労者への支払いを確保すること。
10. トンネルじん肺被災者に対する救済法を早急に確立すること。また、全てのトンネル工事で安全対策の強化と8時間労働制を受注業者への徹底すること。

月額4,500円アップ

秋田運送支部は2025春闘で賃上げ要求(日給月給制・出来高制の基本給を15,000円引き上げること)を出して交渉してきましたが、4月30日に会社と次の協定書を結びました。

イ. 日給月給制・歩合制組合員(満60歳以上の組合員を除く)の基本給について4月1日以降一人一律、月額4,500円を増額する。

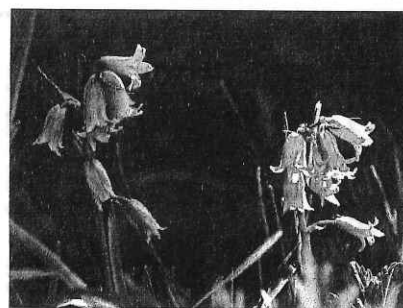
ロ. 令和6年4月1日から令和7年3月31日までの途中入社者の者については試用期間満了後1年を経過した時から上記条件で基本給を増額する。



最低賃金の引き上げを

東北・北海道最賃引き上げキャラバン行動が6月5日、秋田市内でとりくまれました。写真は秋田駅前の朝宣伝。

この後、北海道、青森、山形の代表と秋田県労連の代表が秋田労働局に要請、中小企業家同友会、秋田弁護士会と懇談を行いました。



基地よりも
田畑を
増やせ
民のため



八面六臂(はちめんろくぴ)
ミスタープロ野球の長嶋茂雄が6月3日、89歳の生涯を閉じました。▼長嶋選手が現役時代の17年間は、私の小学生から高校生までの12年間とほぼ重なっています。▼テレビで中継されるナイターの試合は、すべて巨人戦と言ってよいほどブラウン管には、毎晩のように巨人の選手が登場しました。だから巨人ファンが東北地方では多かったのかもしれない。▼私が生の長嶋を見たのは、後にも先にも1回だけあります。1972年の春、中学3年の修学旅行は、東京・箱根方面。後楽園球場のアルプススタンドから巨人戦を観戦しました。豆粒のような長嶋選手を見つけました。▼1974年秋、高校2年の時に長嶋は引退しますが、クラスの何人かは授業をさぼって引退間近の長嶋の試合を見に行きました。それだけ魅力だったのでしょう。▼長嶋はいくつもの名言を残しています。「巨人軍は永遠に不滅です」(野球への情熱と未来への希望)、「家に帰って風呂に入るまで勝負はわからない」(あきらめない姿勢)、「初めての還暦(ユーモア)」「失敗してもプライドは失わない。それは努力しているからだ」(人並み以上の努力家)など。▼天才肌にもみられる長嶋ですが、実は類いまれな努力の人だったそうです。試合で無安打の夜は、食事も取らずに明け方までバットを振ることもあったそうです。▼打撃はもちろんですが、野性的な守備がカッコよく、特に三塁ゴロをグラブに収め、一塁に送球する姿は美しかった。江川問題以来、アンチ巨人になりましたが、長嶋のファンだけは返上しませんでした。合掌 (喜)

カマヤん 平均寿命73歳問題 ありむら潜



◆参院選の焦点◆ 物価高から暮らしを守れ 消費税減税の世論高まる

物価高騰で家計が苦しくなり、「トランプ関税」への不安が高まるなか、消費税減税を求める世論が高まっている。野党の多くも消費税減税を掲げており、消費税減税が参院選の重要焦点の一つに浮上している。

◆約6割が賛成

物価高のなか、毎日の買物で消費税減税は家計の助けとなる。消費拡大にもつながるので経済効果が見込める。

4月中旬の各メディアの世論調査では消費税減税賛成が多数派だ。産経新聞とFNNの世論調査では、消費税減税に「賛成」が68%で、「反対」は28%。ANNの調査では一時的な消費税減税に「賛成」が60%、「反対」が30%。朝日新聞の調査では「一時的にでも消費税率引き下げるほうがよい」が59%、「今のまま」が36%。日経新聞とテレビ東京の調査では、消費税引き下げの効果について「あると思う」が59%で「あると思わない」の37%を上回った。

◆肝心な財源は

世論を受け参院選を前に、各党が消費税減税を掲げ出した。ただ、消費税は国の税収で最大の割合を占めており、消費税減税には大規模な財源を要する。5%への引き下げは10兆円超に相当。財源について、国民民主党とれいわ新選組は赤字国債の発行で賄うと説明するが、将来にツケを回すのか。立憲民主党は赤字国債に頼らないとしつつも検討段階。日本維新の会は税収増加分で確保すると言うが不確かである。日本共産党は恒久財源として大企業と富裕層への優遇税制の廃止を示している。

◆税の公平性を

消費税減税案の多くが一時的な措置とするが、それでいいのか。消費税は社会保障の財源とされているが、税率が上がる度に社会保障は改悪。それどころか事実上、法人税減税の穴埋めにされた。何よりも消費税は低所得層や中小業者に重い不公平な税制。税の公平性の観点からも、消費税は見直すべきだ。法人税率を元に戻すなど、大企業・富裕層への優遇税制を廃止して、消費税脱却を図るべきではないか。

インボイス制廃止の展望

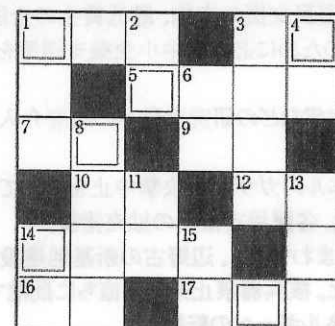
消費税減税とともに求められているのが、インボイス(適格請求書)制度(23年10月導入)の廃止。売上1千万円以下の免税業者もインボイス登録して消費税課税業者にならなければ取引から排除される可能性が高く、課税業者になれば赤字でも消費税納付の義務が生じ、重い事務負担も負う。中小業者や自営業者、フリーランスには大打撃の制度だ。

中小事業者らが廃業や苦境に陥れば、地域経済は衰退する。インボイスに反対の政党は立民、国民民主、共産、れいわ、社民。夏の参院選でインボイス推進派の自民、公明、維新が少数派になれば廃止が展望できる。

消費税減税をめぐる各党の姿勢

自 民	参院議員の中から時限的に食料品の減税を求める声が高まるが、党幹部は否定的
公 明	減税を検討。実現までのつなぎ措置として現金給付
立憲民主	1年間、食料品0%、赤字国債に頼らない財源を検討
維新の会	2年間、食料品0%。財源は税収増加分で
国民民主	一時的に5%に一律引き下げ。財源は赤字国債発行で
共 産	廃止めざし緊急に5%に一律引き下げ。財源は大企業と富裕層の優遇税制の廃止で
れいわ	消費税廃止。財源は赤字国債発行で
社 民	食料品0%直ちに

クロスワードパズル



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。

【タテのカギ】

- ①——隠して尻隠さず ②新聞の三面—— ③当選と落選 ④各——停車 ⑤がっぶり——に組む ⑥一つの原因 ⑦目のふちの—— ⑧前代未聞の—— ⑨毒を食らわば——まで ⑩刺身の——

【ヨコのカギ】①教科書を丸—— ②——二十重に取り囲む ③——を逸する行為 ④二の——を演ずる ⑤蛙の——に水 ⑥まだ——5年の家 ⑦仕事の——を探す ⑧年の暮れ。——大売出し ⑨応仁の—— ⑩祀。仏教寺院の記号

【前回の答え】茶畑(チャバタケ)

応募者1名、正解者1名でした。

笹耕市さんに1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。

正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢(さしつかえなければ)・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎。

応募のしめ切り⇒6月25日の消印まで有効。発表は次号で。

ヒント⇒〇〇〇〇エ〇…これからにぎわいます

余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。

仲間の皆さん、ふるって応募を！

《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号
Fax.018-823-7751

建交労秋田県本部「なかま」クイズ係

子供の頃、釣り好きの父は私たちが家族を連れて八郎潟に頻りに出掛けました。小舟に乗り船頭さんが櫓をこぎ広大な八郎潟に乗り出し湖面に釣り糸を垂れた。ハゼやシマダイと呼ばれる石鯛の若魚をたくさん釣り浅瀬ではたくさんの鯉をとった。やがて八郎潟は将来の食糧不足に備えるという大義名分の元に干拓された。また世紀の大事業とも喧伝され自然豊かなそして日本第二の広大な湖は姿を消した。ところが政府の思惑と異なり米は余り減反政策が始まった。そして今度は米不足となり令和の米騒動が起きた。政府は浚渫を本気で下げる気が全くないとわかるような放出方法をとった。それにしても政府はなぜ場当たりの

仲間の声

な対応しかできないのだろうか。そんな政府に私の頭は怒りで沸騰している。だがその沸騰した脳はある日一瞬で凍り付いた。江藤大臣の「お米はいっぱいもらい売るほどある」という発言したためだ。唖然自失。怒る気力もなくなった。ああそれにしては何のための干拓だったのか。あの悠々たる豊かな八郎潟を返してほしい。

笹耕市 77歳



羽後町より鳥海山を望む